授業名:生体構造特論

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	MS柔道整復学	科【学年】	3					
		一般	國分	【開講時期】	後期	【回数(時間)】	15(30)					
		川又	図刀	【曜日・コマ】	火 2	【授業形態・単位】	講義 1					
	:の概要】 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	- 1 - T □ 77 -	_L 7			【受講して得						
二年「	三年間の柔道整復学を総合的に理解する。											
						同選解次刀 基礎学力						
【学習	 '目標(到達目標)】					圣诞于刀 						
1)国家	家試験に向け自分の苦う											
	家試験に向け自分の理解	曜を高め ²	3 。									
3												
【履修	【履修上の注意】											
回数	授業のテーマ(担当					月教材・学修方法)						
1	国家試験過去問(必修対策・関	係法規·社会	会保障制度・医療倫	≀理・職業倫理・柔	道整復実技)を中/	心に解説し、第1回〜2	3回の解説を行う。					
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
10												
13												
14												
<u> </u>												
15												
抽士	<u></u> 筆記試験		<u> </u>	筆記試験	90%	<u> </u>	0%					
耕木 試験	一一 口 口 八 門 大		評価方法	半記武歌 受講態度	10%		0%					
	L 書】一般臨床医学 改定	第3版	1	~ HI 1012	:	<u> </u>						
【参考	書】柔道整復師国家試	演過去問										
【授業時	: 間外に必要な学習の具体的内容】	専門基礎	楚(解剖学•生理	理学•病理学))							
【本計	講義に関しての質問先】		当教員	【質問方法】	メール連絡							

授業名:生体機能特論

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	━ MS柔道整復学科	【学年】	3					
		一般	國分	【開講時期】	後期	【回数(時間)】	15(30)					
		川又	図刀	【曜日・コマ】	火 3	【授業形態·単位】	講義 1					
	の概要】	- 1 - T □ 77 -	_L 7			【受講して得						
二年「	三年間の柔道整復学を総合的に理解する。											
						同						
【学習] 目標(到達目標)】											
①国》	家試験に向け自分の苦う											
	②国家試験に向け自分の理解を高める。											
3												
【履修	【履修上の注意】											
回数	授業のテーマ(担当				(授業方法・使用							
1	国家試験過去問(必修対策・関	係法規·社会	会保障制度・医療倫	理・職業倫理・柔	道整復実技)を中心	に解説し、第1回〜28	回の解説を行う。					
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
"												
15												
	年 □=+FA		<u> </u>	∕∕∕ =¬ =, ⊾ «∧	000/	<u> </u>	00/					
期末 試験	筆記試験		評価方法	筆記試験 受講態度	90%		0% 0%					
	│ 書】公衆衛生学 改定第	56版	<u> </u>	又碑忠反	10/0		U/0					
	【参考書】柔道整復師国家試験過去問題集											
	間外に必要な学習の具体的内容】			里学•公衆衛								
	 講義に関しての質問先】	<u> </u>	当教員		メール連絡							

授業名:柔道Ⅲ

【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	MS柔道整	隆復学科	【学年】	3	
長沼 久 ・ 國分 義之	一般	國分	【開講時期】	前期		【回数(時間)】	15(30)	
投布 久 · 國力 我と	ŊX	超刀	【曜日・コマ】	木	3	【授業形態・単位】	実習	1
【授業の概要】 講道館柔道の目標とするところ ことにある。柔道の修業は、攻 ことが究極の目的である。		【受講して行前に踏み出す 忍耐力	导られる力】 ⁻ 力					
【学習目標(到達目標)】 ①初段程度の受身を習得する ②投形(手技・腰技・足技)受取 ③初段程度の乱取を習得する	なを習得 つ	する。						

【履修上の注意】

「腹形上の注息」											
回数	授業のテーマ(担当教員)	授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法)									
4		立礼・座礼の確認									
1	国家試験過去間(必修対策・頻高法殊・社会保障制度・医療機等・臨業機等・高温整復実技) E中心に頻繁し、第1間-28間の解談E作	░│試験の柔道場への入り方・出方									
2	投技(手技)1	浮落・背負投の習得									
3	投技(手技)2	肩車の習得									
4	投技(腰技)1	浮腰の習得									
5	投技(腰技)2	払腰の習得									
6	投技(腰技)3	釣込腰の習得									
7	投技(足技)1	送足払の習得									
8	投技(足技)2	支釣込足の習得									
9	投技(足技)3	内股の習得									
10	乱取1	受・取での技の習得 1									
11	乱取2	受・取での技の習得 2									
12	乱取3	受・取での技の習得 3									
13	乱取4	受・取での技の習得 4									
14	乱取5	受・取での技の習得 5									
15	これまでのまとめ										
期末 試験	期末試験	評価方法 実技試験 80% 0% 0% 0% 0%									
【教科	書】	-									

【参考書】講道館柔道 投形 DVD

[授業時間外に必要な学習の具体的内容] 日頃の健康管理を十分にして、欠席しないように努める。

【本講義に関しての質問先】 【質問方法】教員室にて 科目責任者

授業名:関係法規

			アルロキケット	[1] A W 1]								
	【担当教員】		【科目責任者】		MS柔道整復学		3 15(30)					
	大内 佳奈江	接骨院 3年勤務	大内	【開講時期】	後期	【回数(時間)】						
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の 柳 悪 】	3十到伤		【曜日・コマ】	月 4	【授業形態・単位】	講義 2					
	の概要】 整復師法、医療法につい	て田級な	:郊みスレレナ :-	- 医師法なけ	+1゙ めし士2圧	【受講して得 基礎学力	られる刀】					
	をほ師法、医療法につい 事者関係法規の内容につ					— ··· = • · · ·						
	尹年民际伝統の内谷に - 3民医療費など近年着目					状況判断力						
		C10 C0.	一一一	<u> </u>		_問題解決力						
	'目標(到達目標)】 道整復師の業務を行う上	で心画で	コカズも2時	はまましつに	ング田砂士で							
	^{直笠後師の未務を} 1フェ 会保険制度を理解し、その				・に连胛りる。							
					ル ス							
	③医療事故の概要について理解し、危機管理という観点を身に着ける。 ④個人情報の保護について理解し、学生の段階から日常生活において意識する。											
	【履修上の注意】											
回数	授業のテーマ(担当科	 数員)		授業の内容の]教材·学修方法)						
	国家試験過去問(必修対策・関係法規・社会保障制度・医療機理・職業機理・承進整復実技)を中心に解除	版し、第1回~28回の解説を行う。	法の意義、体									
1						・・・ E療過誤、リスク ⁻	マネジメント)					
		古中 宓	総則、免許、				マホンアンドケ					
2	柔道整復師法とその関う	连内谷										
					を読み、要点を							
3	柔道整復師法とその関う	連内容	施術所、広告	、罰則、指定:	登録機関につ	いて						
			(教科書①p29	9~44の内容	を読み、要点を	王理解する。)						
_	柔道整復師法とその関	連内容	医療従事者の)資格法								
4			(教科書①p47	7~65の内容	を読み、要点を	を理解する。)						
	 関係法規		医療法(総則	医療提供施	設、情報の開							
5	12-3 1-17-1-7-20				を読み、要点を							
	 関係法規		社会福祉関係		产助心人 文 派(2777 7 0007						
6					を読み、要点を	に理解する)						
	分尺段即反注组					「生肝りる。)						
7	社会保険関係法規		社会保障制度		_	Π <i>Α</i> Ω → 7 \						
	4.人/1968年4月				読み、要点を理							
8	社会保険関係法規		健康保険法、	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			77L-7					
						読み、要点を理解	鮮する。)					
9	社会保険関係法規		後期高齢者医									
					を読み、要点を	理解する。)						
10	社会保険関係法規		$ $ 介護保険法 σ)概要								
			(教科書①97-	~99、②p6の	内容を読み、	要点を理解する。)					
11	柔道整復師業務における	る療養費	療養費制度σ	概要、支給甲	申請書の記載							
''			(教科書②p19	9~48の内容	を読み、要点を	E理解する。						
	その他の関係法規		個人情報の係	と護に関する 活	 去律							
12						を読み、要点をヨ	理解する。)					
			柔道整復師に									
13						ョーマングル。 スカッションを行う	5.)					
			柔道整復師 <i>0</i>			V17777 C117	0/					
14	搬水 栅灶				_	スカッションを行う	,					
	ナレル				とひとに、ナイ	ヘルソンコンを15つ	' 0 /					
15	まとめ		これまでの復	首								
	<i>h</i> h =¬ = ± €∧		-	## == = b = 4	1							
	筆記試験		評価方法	筆記試験	90%		0%					
試験	+ 1 0			受講態度	10%		0%					
	書】①関係法規 2019年	度版 ②	社会保障制度	と柔道整復的	师の職業倫理							
【参考	書】											
【授業時	【授業時間外に必要な学習の具体的内容】専門基礎(公衆衛生学)											
【本語	講義に関しての質問先】	科	目責任者	【質問方法】	教員室にて							
			* *		<u> </u>							

授業名:基礎柔道整復学セミナー(1/7)

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	MS柔道整復学科	【学年】	3
	学科教員	一般	学科教員	【開講時期】	前期	【回数(時間)】	
	- 1111	75.	THAR	【曜日・コマ】	月 1	【授業形態·単位】	
	の概要】					L	导られる力】
3年間	の柔道整復学の基礎を	総合的に	理解する。			基礎学力	
		目標達成					
F 224 313							
	'目標(到達目標)】 家試験に向けた必修対策	た行う					
	家試験に絶対に合格する		指す。				
3	3-11-13-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11						
【履	修上の注意】 欠席せずⅠ	こ、常に	自己分析を徹り	底的に行う。			
回数	授業のテーマ(担当者				授業方法·使用		
1	国家試験過去問(必修対策・関係	系法規・社会	会保障制度•医療倫	ⅰ理・職業倫理・柔ⅰ	直整復実技)を中心	こ解説し、第1回~2	8回の解説を行う。
2							
3							
٥							
4							
4							
5							
) 3							
6							
7							
8							
_							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
 期末				筆記試験	100%		0%
期	一不叫不		評価方法	十二 口口八河火	0%		0%
	<u>└</u> 書】国家試験出題の全て	の科目			1 5/0	<u> </u>	3 / 0
	書】柔道整復師国家試驗						
	間外に必要な学習の具体的内容】			 -対策			
	講義に関しての質問先】				教員室にて		

授業名:基礎柔道整復学セミナー(2/7)

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	MS柔道整復学科	【学年】	3		
	学科教員	一般	学科教員	【開講時期】	前期	【回数(時間)】			
		75.	于行教员	【曜日・コマ】	月 2	【授業形態·単位】			
	の概要】					L	导られる力】		
3年間	の柔道整復学の基礎を		基礎学力						
			目標達成						
F 224 313									
	'目標(到達目標)】 家試験に向けた必修対策	た行う							
	家試験に絶対に合格する		指す。						
3	34449X1 = 107431 = H 1H 7 0		,,,,						
【履	修上の注意】 欠席せずⅠ	こ、常に	自己分析を徹原	底的に行う。					
回数	授業のテーマ(担当教				授業方法・使用				
1	国家試験過去問(必修対策・関係	系法規・社会	会保障制度•医療倫	≀理・職業倫理・柔ኒ	直整復実技)を中心	に解説し、第1回~2	悠回の解説を行う。		
2									
3									
٥									
4									
4									
5									
) 3									
6									
7									
8									
_									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
 期末	卒業試験			筆記試験	100%	I I	0%		
期	一不叫次		評価方法	一十 口し 口八 向火	0%		0%		
	 書】国家試験出題の全て	の科目			1 3/0	<u> </u>			
	【参考書】柔道整復師国家試験過去問題集								
	間外に必要な学習の具体的内容】								
	講義に関しての質問先】				教員室にて				

授業名:基礎柔道整復学セミナー(3/7)

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	MS柔道整復学科	【学年】	3
	学科教員	一般	学科教員	【開講時期】	前期	【回数(時間)】	
		712	THAR	【曜日・コマ】	月 3	【授業形態·単位】	
	の概要】					L	导られる力】
3年間	の柔道整復学の基礎を		基礎学力				
		目標達成					
₹₩ 515		-					
	'目標(到達目標)】 家試験に向けた必修対策	た行う					
	家試験に絶対に合格する		指す。				
3	3.1						
【履	修上の注意】 欠席せずⅠ	こ、常に	自己分析を徹り	底的に行う。			
回数	授業のテーマ(担当者				授業方法•使用		
1	国家試験過去問(必修対策・関係	系法規・社会	会保障制度•医療倫	·理·職業倫理·柔ù	道整復実技)を中心	に解説し、第1回~2	8回の解説を行う。
2							
2							
3							
٥							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
#0+	 卒業試験			خم العادة معادة العادة	1000/	 	OP/
期末 試験	千未武殿 		評価方法	筆記試験	100% 0%		0% 0%
	<u> </u> 書】国家試験出題の全て	の利日			- U/0	<u> </u>	U /0
	書】柔道整復師国家試驗						
	音』未旦宝伎中国多武 間外に必要な学習の具体的内容】			- 幼筈			
	講義に関しての質問先】				教員室にて		
人人个市	丹我に因してい貝미兀』!	子	コイナスター	【具问刀法】	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		1

授業名:基礎柔道整復学セミナー(4/7)

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	MS柔道整復学科	【学年】	3
	学科教員	一般	学科教員	【開講時期】	前期	【回数(時間)】	(210)
		/12	于行教员	【曜日・コマ】	月 4	【授業形態・単位】	A11 3F4
	の概要】					L	导られる力】
3年間	の柔道整復学の基礎を		基礎学力				
						目標達成	
F 224 33		-					
	'目標(到達目標)】 家試験に向けた必修対策	た行う					
	家試験に高けた必修为な家試験に絶対に合格する		指す。				
3	34H-4950 - 4B 5 5 5		,,,,				
【履作	俢上の注意】 欠席せずⅠ	こ、常に	自己分析を徹原	底的に行う。			
回数	授業のテーマ(担当者				授業方法•使用		
1	国家試験過去問(必修対策・関係	係法規•社会	会保障制度•医療倫	·理·職業倫理·柔シ	道整復実技)を中心	に解説し、第1回~2	28回の解説を行う。
'							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
'-							
13							
10							
1.4							
14							
1-							
15							
期末	卒業試験		=== /== -+- \-	筆記試験	100%		0%
試験			評価方法	: : ··•· ·	0%		Ο%
【教科	書】国家試験出題の全で	の科目の	 の教科書			-	
	書】柔道整復師国家試驗						
	間外に必要な学習の具体的内容】			 対策			
	講義に関しての質問先】		科教員		教員室にて		

授業名:基礎柔道整復学セミナー(5/7)

	【担当教員】		【科目責任者】		MS柔道整復学科		3		
	学科教員	一般	学科教員	【開講時期】	前期	【回数(時間)】			
「坪学	の無声】			【曜日・コマ】	火 4	【授業形態・単位】	: HI 7 720		
【授業の概要】 【受講して得られ 3年間の柔道整復学の基礎を総合的に理解する。 基礎学力									
	10 不足正反 1 0 至成已	1100 EL 1114				目標達成			
	引目標(到達目標)】								
	家試験に向けた必修対策 家試験に絶対に合格する								
3)CC2	1H 9 o						
			自己分析を徹月						
回数	授業のテーマ(担当					教材・学修方法)			
1	国家試験過去問(必修対策・関係	除法規•社会	会保障制度 ■医療偏	ℹ埋・職業偏埋・柔ℷ	直整復美技)を中心	に解説し、第1回~2	28回の解説を行う。 		
2									
	-								
3									
4									
_									
5									
6									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
10									
13									
1.4									
14									
15									
				h-h- =					
期末試験	卒業試験		評価方法	筆記試験	100%		0% 0%		
	 書】国家試験出題の全で	の利日	 の数科建		0%		0%		
	【参考書】柔道整復師国家試験過去問題集								
	【受労者】未担発後即国家武駛廻公问超来 【授業時間外に必要な学習の具体的内容】 国家試験の出題傾向と対策								
	構義に関しての質問先】		1科教員		教員室にて				

授業名:基礎柔道整復学セミナー(6/7)

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	MS柔道整復学科	【学年】	3
	学科教員	一般	学科教員	【開講時期】	前期	【回数(時間)】	
F 1= 31/4		<i>7</i> 3×	71750	【曜日・コマ】	水 3	【授業形態・単位】	ALL DE C
	の概要】	巛 	- тш 4л -1- 7			L	导られる力】
3年间	の柔道整復学の基礎を持		基礎学力 目標達成				
						日保廷队	
【学習	引目標(到達目標)】					1	
①国第	家試験に向けた必修対策						
_	家試験に絶対に合格する	ことを目	指す。				
3							
 【履ſ	廖上の注意】 欠席せずⅠ	こ、常に	自己分析を徹り	 底的に行 う 。		1	
回数	授業のテーマ(担当者	 枚員)		授業の内容の		 教材·学修方法)	
	国家試験過去問(必修対策・関係	系法規•社会	- 会保障制度・医療倫				
1							
2							
3							
4							
5							
6							
_							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
期末	卒業試験		評価方法	筆記試験	100%		0%
試験	***				0%		0%
	書】国家試験出題の全で						
	書】柔道整復師国家試駅 間外に必要な学習の具体的内容】			が条			
	講義に関しての質問先】		^{実の正起傾回で} :科教員		教員室にて		
 	みがに切りてい見回儿】	7	コイナ人只	【臭问刀压】	・お見土にし		

授業名:基礎柔道整復学セミナー(7/7)

	【担当教員】		【科目責任者】		MS柔道整征			3	
	学科教員	一般	学科教員	【開講時期】	前期		【回数(時間)】 【授業形態·単位】		
	の概要】			【唯口・コイ】	金	3		講義 7 导られる力】	
	の減な』 の柔道整復学の基礎を		基礎学力	4つ10の277					
	TO SICKE IX TO THE C.		目標達成						
	¹ 目標(到達目標)】								
	家試験に向けた必修対策 家試験に絶対に合格する								
3			16 7 0						
			自己分析を徹月						
回数	授業のテーマ (担当教 国家試験過去問(必修対策・関		> 保赔制度, 医疲冷				效材•学修方法) -₩詳! 第1回 • ′		
1	国系武駅迥云向(必修刈束・街)	术法况"仁文	*体学前皮 * 运炼栅	垤" 椒未	国金俊夫权 /6	ድሦ心ነ	〜胜就し、第Ⅰ凹~2	18回の解釈を11つ。	
2									
3									
_									
4									
_									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
10									
12									
13									
14									
15									
#0:+-	本業計 餘		<u> </u>	等記計段	100%	<u>'</u>		0%	
期木 試験	卒業試験		評価方法	筆記試験	0%	J		0% 0%	
	」 書】国家試験出題の全で	 ての科目(の教科書		1 0,0		<u> </u>	<u> </u>	
	【参考書】柔道整復師国家試験過去問題集								
	間外に必要な学習の具体的内容】								
【本訓	講義に関しての質問先】	学	·科教員	【質問方法】	教員室に	こて			

授業名:臨床柔道整復学セミナー(1/7)

	【担当教員】		【科目責任者】			整復学科		3
	学科教員	一般	学科教員	【開講時期】		<u> </u>	【回数(時間)】	
【/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	:の概要】			【曜日・コマ】	月	2	【授業形態・単位】	講義 7 导られる力】
	の感安』 の柔道整復学の基礎を	総合的に	理解する。				基礎学力	むいいのン1
' ' ' ' '							目標達成	
	目標(到達目標)]	1 <i>5</i> 5 + 42 3						
	家試験に向けた科目別対 家試験に絶対に合格する							
3	7*II-4*3X. = 1		34 7 0					
	ケーのと立む 欠声 はざ	- 出一	ウコハ北 <i>ナ 仏</i> に	さんになる				
			自己分析を徹原 「		10 ** 1	·+ /= ==	4++	
回数	授業のテーマ (担当教 国家試験過去問(必修対策・関						数材・学修方法) ニ解説し、第1回~2	
1		//////////////////////////////////////		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			-//1000 / // / -	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
_								
9								
10								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
期末	卒業試験		評価方法	筆記試験	1	00%		0%
試験						0%		0%
	書】国家試験出題の全で							
	書】柔道整復師国家試勵			41 <i>h</i>				
	間外に必要な学習の具体的内容】				∌L □	<u> </u>		
【本記	講義に関しての質問先】	字	!科教員	【質問方法】	教貝	至にて		

授業名:臨床柔道整復学セミナー(2/7)

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	MS柔道整復学	4 【学年】	3
	学科教員	一般	学科教員	【開講時期】	後期	【回数(時間)】	(210)
		ИX.	一个什 人员	【曜日・コマ】	月 3	【授業形態・単位】	
【授業の概						L	得られる力】
3年間の3 	ミ道整復学の基礎を	総合的に	理解する。			基礎学力	
						目標達成	
【学翌日均	票(到達目標)】					_	
	験に向けた科目別対	策を行う	5.				
	験に絶対に合格する						
3							
 【履修上	の注音】を度せずし	- 帝(-	自己分析を徹原	主的に行う			
	の注息】 <u>へ</u> 帰せすし 授業のテーマ (担当教				′ 坦 举 方 注 。 估 田		1
	試験過去問(必修対策・関係						
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
12							
13							
14							
14							
15							
	⊬ =		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	hh =	1		
期末 卒第 試験	美試験		評価方法	筆記試験	100%		0% 0%
	国家試験出題の全て	つぎ日			0%		0%
	国家試験出題の主 柔道整復師国家試騎						
	未担 宝 後						
l	こ関しての質問先】		科教員		教員室にて		

授業名:臨床柔道整復学セミナー(3/7)

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	MS柔道整	復学科	【学年】	3
	学科教員	一般	学科教員	【開講時期】	後期	<u> </u>	【回数(時間)】	(210)
		75.	于行教员	【曜日・コマ】	火	1	【授業形態·単位】	
	の概要】						L	导られる力】
3年間	の柔道整復学の基礎を	総合的に	理解する。				基礎学力	
							目標達成	
र स्थ्य चर								
	'目標(到達目標)】 家試験に向けた科目別対	・	,					
	家試験に絶対に合格する							
3	3.1							
	T							
	2 — 1 <u></u>		自己分析を徹原	底的に行う。				
回数	授業のテーマ(担当者						枚材・学修方法)	
1	国家試験過去問(必修対策・関係	糸法規・社会	会保障制度・医療倫	⋷理・職業倫理・柔道	直整復実技)	を中心し	こ解説し、第1回~2	8回の解説を行う。
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
'''								
12								
12								
13								
13								
1.4								
14								
4.5								
15								
期末	卒業試験		=₩/ == /- >+	筆記試験	1009	%		0%
試験			評価方法		0%			0%
	書】国家試験出題の全て							
【参考	書】柔道整復師国家試驗	₆ 過去問	題集					
【授業時	間外に必要な学習の具体的内容】	国家試馬	め 出題傾向と	≤対策				
【本訓	講義に関しての質問先】		!科教員	【質問方法】	教員室	にて		

授業名:臨床柔道整復学セミナー(4/7)

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	MS柔道整復学科	【学年】	3
	学科教員	一般	学科教員	【開講時期】	後期	【回数(時間)】	(210)
F 1-0 -111		/12	子竹秋英	【曜日・コマ】	火 4	【授業形態・単位】	A1 0 000
	の概要】	60 A 46.	- TO 47 1- 7			L	导られる力】
3年間 	の柔道整復学の基礎を	総合的に	理解する。			基礎学力	
						目標達成	
【学習	 '目標(到達目標)】					-	
	家試験に向けた科目別対	策を行う	5.				
	家試験に絶対に合格する	ことを目	指す。				
3							
【层	廖上の注意】 欠席せず(- 労(-	自己分析を徹り	産的に行う			
回数	授業のテーマ(担当者				/授業方法。使田		
	国家試験過去問(必修対策・関		┃ 会保障制度・医療倫				
1							
_							
2							
3							
4							
<u> </u>							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
10							
11							
_''							
12							
13							
14							
15							
期末	卒業試験		== /== -1 - · /	筆記試験	100%		0%
試験			評価方法	, HO 1-1-3/	0%		0%
【教科	書】国家試験出題の全で	の科目	の教科書		<u> </u>		
【参考	書】柔道整復師国家試驗	6過去問	題集				
【授業時	間外に必要な学習の具体的内容】	国家試馬	険の出題傾向と				
【本記	構義に関しての質問先】	学	科教員	【質問方法】	教員室にて		

授業名:臨床柔道整復学セミナー(5/7)

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	MS柔道整	復学科	【学年】	3
	学科教員	一般	学科教員	【開講時期】	後期	月	【回数(時間)】	(210)
		אניו	一个	【曜日・コマ】	水	2	【授業形態·単位】	A11 3F4
	の概要】							导られる力】
3年間	の柔道整復学の基礎を	総合的に	:理解する。				基礎学力	
							目標達成	
了兴功								
	'目標(到達目標)】 家試験に向けた科目別対	+笛を行う	,					
	家試験に絶対に合格する							
3	31H-1930 - 10331 - H 1H 3 C		, n , o					
【履	<u> </u>	こ、常に	自己分析を徹り	底的に行う。				
回数	授業のテーマ(担当者						枚材・学修方法)	
1	国家試験過去問(必修対策・関係	系法規·社会	会保障制度・医療倫	理·職業倫理·柔道	直整復実技》	を中心	こ解説し、第1回~2	28回の解説を行う。
'								
2								
~								
3								
3								
4								
_								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
	<u> </u>	1	-			•	=	
期末	卒業試験		評価方法	筆記試験	100			0%
試験	▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗	CO 11 7			0%	1		0%
	書】国家試験出題の全で							
	書】柔道整復師国家試勵			±1.65				
	間外に必要な学習の具体的内容】				I — -	_		
【本訓	構義に関しての質問先】	学	科教員	【質問方法】	教員室	にて		

授業名:臨床柔道整復学セミナー(6/7)

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	MS柔道整復学科	【学年】	3
	学科教員	一般	学科教員	【開講時期】	後期	【回数(時間)】	(210)
		PJX.	于什我员	【曜日・コマ】	水 3	【授業形態・単位】	M10 000
1	の概要】					L	导られる力】
3年間 	の柔道整復学の基礎を	総合的に	理解する。			基礎学力	
						目標達成	
了 学习	· 目標(到達目標)】					-	
	日保(到廷日保/) 家試験に向けた科目別対	策を行う	5.				
	家試験に絶対に合格する						
3							
		117.	. = 0.12.144				
	<i>></i>		自己分析を徹原				
回数	授業のテーマ(担当教				(授業方法・使用		
1	国家試験過去問(必修対策・関係	糸法規・社会	会保障制度•医療偏	埋・職業偏埋・柔:	直整復実技)を中心	に解説し、第1回~2	28回の解説を行う。
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
'''							
12							
12							
13							
13							
14							
14							
15							
期末	卒業試験		評価方法	筆記試験	100%		Ο%
試験					0%		0%
	書】国家試験出題の全で						
	書】柔道整復師国家試驗						
	間外に必要な学習の具体的内容】						
【本語	構義に関しての質問先】	学	4科教員	【質問方法】	教員室にて		

授業名:臨床柔道整復学セミナー(7/7)

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	MS柔道整	復学科	【学年】	3
	学科教員	一般	学科教員	【開講時期】	後其	月	【回数(時間)】	
		712	THAR	【曜日・コマ】	水	4	【授業形態・単位】	141 6 6 4
	の概要】						L	导られる力】
3年間	の柔道整復学の基礎を	総合的に	理解する。				基礎学力	
							目標達成	
र स्थ राह								
	'目標(到達目標)】 家試験に向けた科目別対	生を行う	5					
	家試験に絶対に合格する							
3	34449X1 = 10X31 = H 1H X 0		, , , ,					
【履	<u> </u>	こ、常に	自己分析を徹月	底的に行う。				
回数	授業のテーマ(担当者						教材·学修方法)	
1	国家試験過去問(必修対策・関係	系法規・社会	会保障制度•医療倫	ì理·職業倫理·柔詢	直整復実技 <i>)</i>	を中心	こ解説し、第1回~2	悠回の解説を行う。
2								
2								
3								
٥								
4								
_								
5								
6								
_								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
#0+	 卒業試験			خد العادد خد العادد	100	0/		On/
期末 試験	千未武殿 		評価方法	筆記試験	100 0%			0% 0%
	 書】国家試験出題の全て	つぎ日	 の数科量		₁ U%			U /0
	書』国家試験山起の主く書』柔道整復師国家試験							
	音』・							
	講義に関しての質問先】			^{[対 東} 【質問方法】	业 日宁	 - テ		
1 【46	p我に因してい貝미兀』	子	竹子玖貝	【具问刀法】	:	ı – C		

授業名:柔道整復実技セミナー(1/7)

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	■ MS柔道整復学科	【学年】	3
		病院3年勤務		【開講時期】	通年	【回数(時間)】	(210)
	國分 義之	接骨院開業 30年経験	國分	【曜日・コマ】	前期・火 1	【授業形態·単位】	演習 7
三年間【学習①認定	の概要】 間の柔道整復実技および 目標(到達目標)】 定実技審査に向けた整復	夏•固定能	:力の対策を行		0	【受講して得前に踏み出す。 チームで働く力 目標達成 協調性の向上 忍耐力	<u>力</u>
①認足	定実技審査に向けた柔道 定実技審査に絶対に合格	各を目指す	ナことを目標と [・]				
	多上の注意】 欠席せず						
回数	授業のテーマ(担当				授業方法•使用		
1	国家試験過去問(必修	対策•関 [•]	係法規・社会の 解説し、第1回			浬▪柔道整復実	伎)を中心に
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
試験	認定実技審査	_,	評価方法	実技試験	100%		0% 0%
	書】柔道整復学・実技編	改定第	2版 包帯固	定学 改定第	2版		
	書】認定実技審査要領		. 	·	81.		
	間外に必要な学習の具体的内容】					解する。	
【本語	構義に関しての質問先】	科] 責任者	【質問方法】	教員室にて		

授業名:柔道整復実技セミナー(2/7)

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	■ MS柔道整復学科	【学年】	3
		病院3年勤務		【開講時期】	通年	【回数(時間)】	(210)
	國分 義之	接骨院開業 30年経験	國分	【曜日・コマ】	前期・火 2	【授業形態·単位】	演習 7
三年間	の概要】 間の柔道整復実技および				0	【受講して得前に踏み出す。 チームで働く力 目標達成協調性の向上	カ
②認知 ①認知	定実技審査に向けた整復 定実技審査に向けた柔道 定実技審査に絶対に合格	の対策で 各を目指す	を行う。 けことを目標と	する。	1 1 7	忍耐力	
	多上の注意】 欠席せず					W 11 W 16 1 . 1 .	
回数	授業のテーマ(担当				授業方法・使用		H\+ + 2.1-
1	国家試験過去問(必修	刈朿•鬨	除法規・任会で 解説し、第1回			摆╹采坦釡復夫:	文/を中心に
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
試験	認定実技審査		評価方法	実技試験	100%		0% 0%
	書】柔道整復学・実技編	改定第	2版 包帯固	定学 改定第	2版		
	書】認定実技審査要領		. 	·	81.		
	間外に必要な学習の具体的内容】					解する。	
【本詞	構義に関しての質問先】	科] 責任者	【質問方法】	教員室にて		

授業名:柔道整復実技セミナー(3/7)

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	■ MS柔道整復学科	【学年】	3
		病院3年勤務		【開講時期】	通年	【回数(時間)】	(210)
	國分 義之	接骨院開業 30年経験	國分	【曜日・コマ】		【授業形態・単位】	演習 7
	の概要】 間の柔道整復実技および	· · · · 柔道実持	支をそうごうてき			【受講して得前に踏み出す:チームで働く力	られる力 】 カ
①認足 ②認足	目標(到達目標)】 定実技審査に向けた整復 定実技審査に向けた柔道 定実技審査に絶対に合格	道の対策を	を行う。			目標達成 協調性の向上 忍耐力	
【履作	多上の注意】 欠席せず	に、体調が	管理に留意し	目標を持ち努力	 力する。		
回数	授業のテーマ(担当					 教材·学修方法)	
1	国家試験過去問(必修			ቩ 間度•医療	療倫理·職業倫		支)を中心に
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
試験	認定実技審査	; 7 <i>L</i> *	評価方法	実技試験	100%		0% 0%
	書】柔道整復学・実技編	改定第	2放 包带固	定学 改定第	2万又		
	書】認定実技審査要領	클럽 나는 나는 사	+	h=±1 4== □	—>		
	間外に必要な学習の具体的内容】				-	件りる。	
【本語	構義に関しての質問先】	科目	目責任者	【質問方法】	教員室にて		

授業名:柔道整復実技セミナー(4/7)

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	■ MS柔道整復学科	【学年】	3
		病院3年勤務		【開講時期】	通年	【回数(時間)】	(210)
	國分 義之	接骨院開業 30年経験	國分	【曜日・コマ】	前期・金 1	【授業形態·単位】	演習 7
三年間	の概要】 間の柔道整復実技および 目標(到達目標)】 記実技審査に向けた整復				0	【受講して得前に踏み出す。 チームで働くた目標達成協調性の向上 忍耐力	カ
②認知 ①認知	定実技審査に向けた柔道 定実技審査に絶対に合格	の対策で 各を目指す	を行う。 すことを目標と	する。	L -		
	多上の注意】 欠席せず						
回数	授業のテーマ(担当				授業方法・使用		H\+ H 2.1-
1	国家試験過去問(必修	刈朿•鬨	除法規・任会で 解説し、第1回			性⁼ 采 担쭢復美∶	文/を中心に
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
試験	認定実技審査		評価方法	実技試験	100%		0% 0%
	書】柔道整復学・実技編	改定第	2版 包帯固	定学 改定第	2版		
	書】認定実技審査要領		. 	·	81.		
	間外に必要な学習の具体的内容】					解する。	
【本語	構義に関しての質問先】	科] 責任者	【質問方法】	教員室にて		

授業名:柔道整復実技セミナー(5/7)

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	■ MS柔道整復学科	【学年】	3
		病院3年勤務		【開講時期】	通年	【回数(時間)】	(210)
	國分 義之	接骨院開業 30年経験	國分	【曜日・コマ】	前期·金 2	【授業形態·単位】	演習 7
三年間	の概要】 間の柔道整復実技および 目標(到達目標)】 記実技審査に向けた整復				0	【受講して得前に踏み出す。 チームで働く力 目標達成協調性の向上	カ
②認知 ①認知	定実技審査に向けた柔道 定実技審査に絶対に合格	の対策で 各を目指す	を行う。 けことを目標と	する。	1 1 7	忍耐力	
	多上の注意】 欠席せず						
回数	授業のテーマ(担当				(授業方法·使用		+\+\+\-\-\\
1	国家試験過去問(必修	刈朿•鬨	除法規・任会で 解説し、第1回			性 "	坟)を中心に
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
試験	認定実技審査		評価方法	実技試験	100%		0% 0%
	書】柔道整復学・実技編	改定第	2版 包帯固	定学 改定第	52版		
	書】認定実技審査要領		. 	·	A1		
	間外に必要な学習の具体的内容】					解する。	
【本語	構義に関しての質問先】	科	目責任者	【質問方法】	教員室にて		

授業名:柔道整復実技セミナー(6/7)

【担当教員】 【科目責任者】【対象学科】 MS柔道整復学科 【学年】 3										
		病院3年勤務		【開講時期】	通年	【回数(時間)】	(210)			
	國分 義之	接骨院開業 30年経験	國分	【曜日・コマ】	前期・金 4	【授業形態·単位】	演習 7			
三年間	【授業の概要】 【受講して得られる力】 三年間の柔道整復実技および柔道実技をそうごうてきに理解する。 前に踏み出す力 チームで働く力 目標達成									
①認定 ②認定 ①認定	【学習目標(到達目標)】 ①認定実技審査に向けた整復・固定能力の対策を行う。 ②認定実技審査に向けた柔道の対策を行う。 ①認定実技審査に絶対に合格を目指すことを目標とする。									
	多上の注意】 欠席せず		1							
回数	授業のテーマ(担当				(授業方法·使用		 			
1	国家試験過去問(必修	対束•関	係法規・社会で 解説し、第1回			埋▪柔趄甃復美﹕	坟)を中心に			
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
試験	認定実技審査		評価方法	実技試験	100%		0% 0%			
	書】柔道整復学・実技編	改定第	2版 包帯固	定学 改定第	52版					
【参考書】認定実技審査要領										
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】認定実技審査要領を熟読し、1項目ごとしつかり理解する。										
【本講義に関しての質問先】 科目責任者 【質問方法】 教員室にて										

授業名:柔道整復実技セミナー(7/7)

【担当教員】 【科目責任者】【対象学科】 MS柔道整復学科 【学年】 3								
		病院3年勤務		【開講時期】	通年	【回数(時間)】	(210)	
	國分 義之	接骨院開業 30年経験	國分	【曜日・コマ】	後期·金 2	【授業形態·単位】	演習 7	
三年間【学習①認定	の概要】 間の柔道整復実技および 目標(到達目標)】 定実技審査に向けた整復	【受講して得前に踏み出す。 チームで働くた 目標達成協調性の向上 忍耐力	カ					
①認足	定実技審査に向けた柔道 定実技審査に絶対に合格	各を目指す	ナことを目標と [・]					
	多上の注意】 欠席せず							
回数	授業のテーマ(担当				授業方法・使用		11 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
1	国家試験過去問(必修	对策•関⁴	係法規・社会の 解説し、第1回			埋•柔迫整復実	坟)を中心に	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
試験	認定実技審査		評価方法	実技試験	100%		0% 0%	
	書】柔道整復学・実技編	改定第	2版 包帯固	定学 改定第	2版			
【参考書】認定実技審査要領								
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】認定実技審査要領を熟読し、1項目ごとしつかり理解する。								
【本講義に関しての質問先】 科目責任者 【質問方法】 教員室にて								

授業名:臨床的判断(画像理解)(追加)

指当教員 日本の 日本の								
高野 止和 5年勤務 高野 [曜日・コマ] 金 3 [ए栗形形・甲位] 請義 1 [授業の概要] (受講して得られる力] 状況判断力 素力 表立 (大力 間								
授業の概要								
乗道整復師が関与する運動器の臨床画像(MRI、CT、X-P、超音波)について、 基本的撮影方法~医師の読影方法まで理解し、臨床現場での対応力を高める。 学習目標(到達目標)] ①各種画像診断装置の最影方法を理解する。 ②各種画像診断装置の記影方法を理解する。 ③各種画像診断装置の記影方法を理解する。 ③各種画像診断装置の記影方法を理解する。 ③各種画像診断装置の記影方法を理解する。 4 各種画像診断装置の短影と読影方法。 各種画像診断装置の撮影と読影方法。 各種画像診断装置の撮影と読影方法。 CTの撮影および読影方法について学ぶ。 各種画像診断装置の撮影と読影方法。 を程画像診断装置の撮影と読影方法。 各種画像診断装置の撮影と読影方法。 本種画像診断装置の撮影と読影方法。 と問題など読影方法。 本種画像診断装置の撮影と読影方法。 と種画像診断装置の撮影と読影方法。 本種画像診断装置の撮影と読影方法。 を理画像診断装置の撮影と読影方法。 本種画像診断装置の撮影と読影方法。 を理画像診断装置の撮影と読影方法。 本種画像診断装置の撮影と読影方法。 を理画像診断装置の撮影と読影方法。 を理画像診断装置の撮影と読影方法。 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 本種画像診断装置の撮影と読影方法。 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 を理画像診断装置の撮影と読影方法。 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 を理画像診断装置の撮影と読影方法。 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 の 本種画像診断装置の撮影と読影方法。 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 の 本種画像診断装置の撮影と読影方法。 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 の 本種画像診断装置の撮影と読影方法。 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 の 本種画像診断装置の撮影と読影方法。 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 の 本種画像部時装置の撮影と読影方法。 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 の 本種画像部時装置の撮影と読影方法。 を理画像診断装置の撮影と読影方法。 の 本種画像診断装置の撮影と読影方法。 を理画像診断装置の撮影と読影方法。 を理画像診断装置の撮影と読影方法。 を理画像診断装置の撮影と読影方法。 を可能のよりにできるよう学ぶ。 11 なた画像判断①								
基本的撮影方法~医師の読影方法まで理解し、臨床現場での対応力を高める。 学習目標(到達目標)】 ①各種画像診断装置の名称およびしくみを理解する。 ②各種画像診断装置の撮影方法を理解する。 ②各種画像診断装置の撮影方法を理解する。 【履修上の注意】 回数 授業のテーマ(担当教員) 本種画像診断装置の造影と読影方法。 MRI、CT、X-P、超音波画像の特長と違いについて学ぶ。 各種画像診断装置の撮影と読影方法。 A 各種画像診断装置の撮影と読影方法。 B 各種画像診断表面の撮影と読影方法。 B A 表面の撮影と読影方法。 B A 表面の撮影に読むまるよう意念。 B A 表面の撮影に表面の撮影と読影方法。 B A 表面の撮影に表面の撮影と読影方法。 B A 表面の撮影に表面の撮影と読影方法。 B A 表面の撮影に表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表								
世習目標(到達目標)] ①各種画像診断装置の名称およびしくみを理解する。 ②各種画像診断装置の撮影方法を理解する。 ③各種画像診断装置の競影方法を理解する。 ③各種画像診断装置の競影方法を理解する。 【履修上の注意】 回数 授業のテーマ(担当教員) 授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法) MRI、CT、X-P、超音波画像の特長と違いについて学ぶ。 名種画像診断装置の撮影と誘影方法① MRIの撮影および読影方法について学ぶ。 4 各種画像診断装置の撮影と誘影方法② CTの撮影および読影方法について学ぶ。 各種画像診断装置の撮影と誘影方法② X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 6 各種画像診断装置の撮影と誘影方法③ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 7 各種画像診断装置の撮影と誘影方法⑤ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 8 各種画像診断装置の撮影と誘影方法⑥ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 10 各種画像診断装置の撮影と誘影方法② X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 11 臨床画像判断① 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 12 施床画像判断① MRI画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 X-P面像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 X-P面像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。								
(学習目標(到達目標)】 ① 各種画像診断装置の名称およびしくみを理解する。 ② 各種画像診断装置の撮影方法を理解する。 ③ 各種画像診断装置の撮影方法を理解する。 【								
①各種画像診断装置の名称およびLくみを理解する。 ②各種画像診断装置の撮影方法を理解する。 【履修上の注意】 回数 授業のテーマ(担当教員) 【								
②各種画像診断装置の撮影方法を理解する。 ③各種画像診断装置の撮影方法を理解する。 ③各種画像診断装置の読影方法を理解する。 【履修上の注意】 回数 授業のテーマ(担当教員) 授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法) MRI、CT、X-P、超音波画像の特長と違いについて学ぶ。 各種画像診断装置の撮影と誘影方法① MRIの撮影および読影方法について学ぶ。 4 各種画像診断装置の撮影と誘影方法② CTの撮影および読影方法について学ぶ。 5 各種画像診断装置の撮影と誘影方法② X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 6 各種画像診断装置の撮影と誘影方法③ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 7 各種画像診断装置の撮影と誘影方法⑤ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 8 各種画像診断装置の撮影と誘影方法⑥ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 10 各種画像診断装置の撮影と誘影方法② 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 11 臨床画像判断① MRI画像の撮影および読影方法について学ぶ。 12 臨床画像判断① MRI画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 X-P画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 CT画像所見が応覚などればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば								
(
回数 授業の方一マ(担当教員) 授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法) 1								
MRI、CT、X-P、超音波画像の特長と違いについて学ぶ。 各種画像診断装置の注意点 装置および画像の取り扱いについて注意点を学ぶ。 各種画像診断装置の撮影と読影方法① MRIの撮影および読影方法について学ぶ。 各種画像診断装置の撮影と読影方法② CTの撮影および読影方法について学ぶ。 各種画像診断装置の撮影と読影方法② X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 各種画像診断装置の撮影と読影方法③ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 各種画像診断装置の撮影と読影方法④ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑥ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 超音波画像の撮影と読影方法② 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 超音波画像の撮影と読影方法について学ぶ。 超音波画像の撮影と読影方法について学ぶ。 日本画像診断装置の撮影と読影方法③ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 超音波画像の撮影と表び読影方法について学ぶ。 区種画像診断装置の撮影と読影方法③ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 区種画像診断装置の撮影と読影方法③ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 CT画像が開発など読むます CT画像形見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 CT画像形見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 CT画像形見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 CT画像が開発など読むがは、 CT、 CT画像が開発など読むがは、 CT、 CT								
2 各種画像診断装置の注意点 装置および画像の取り扱いについて注意点を学ぶ。 3 各種画像診断装置の撮影と読影方法① MRIの撮影および読影方法について学ぶ。 4 各種画像診断装置の撮影と読影方法② CTの撮影および読影方法について学ぶ。 5 各種画像診断装置の撮影と読影方法③ X~Pの撮影および読影方法について学ぶ。 6 各種画像診断装置の撮影と読影方法④ X~Pの撮影および読影方法について学ぶ。 7 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑤ X~Pの撮影および読影方法について学ぶ。 8 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑥ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 9 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑥ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 10 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑥ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 11 臨床画像判断① MRI画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。								
2 各種画像診断装置の注意点 装置および画像の取り扱いについて注意点を学ぶ。 3 各種画像診断装置の撮影と読影方法① MRIの撮影および読影方法について学ぶ。 4 各種画像診断装置の撮影と読影方法② CTの撮影および読影方法について学ぶ。 5 各種画像診断装置の撮影と読影方法③ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 6 各種画像診断装置の撮影と読影方法④ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 7 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑤ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 8 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑥ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 9 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑥ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 10 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑧ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 11 臨床画像判断① MRI画像の撮影および読影方法について学ぶ。 12 臨床画像判断① CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① X-P面像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。								
2								
2								
4 各種画像診断装置の撮影と読影方法② CTの撮影および読影方法について学ぶ。								
4 各種画像診断装置の撮影と読影方法② CTの撮影および読影方法について学ぶ。								
4 各種画像診断装置の撮影と読影方法③ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 6 各種画像診断装置の撮影と読影方法④ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 7 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑤ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 8 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑥ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 9 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑦ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 10 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑧ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 11 臨床画像判断① MRI画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① X-P画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。								
4 各種画像診断装置の撮影と読影方法③ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 6 各種画像診断装置の撮影と読影方法④ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 7 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑤ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 8 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑥ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 9 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑦ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 10 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑧ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 11 臨床画像判断① MRI画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① X-P画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。								
5 各種画像診断装置の撮影と読影方法③ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 6 各種画像診断装置の撮影と読影方法④ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 7 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑤ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 8 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑥ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 9 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑦ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 10 各種画像診断装置の撮影と読影方法③ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 11 臨床画像判断① MRI画像の撮影および読影方法について学ぶ。 12 臨床画像判断① CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。								
6 各種画像診断装置の撮影と読影方法④ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 7 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑤ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 8 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑥ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 9 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑦ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 10 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑧ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 11 臨床画像判断① MRI画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① X-P画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。								
6 各種画像診断装置の撮影と読影方法④ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 7 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑤ X-Pの撮影および読影方法について学ぶ。 8 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑥ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 9 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑦ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 10 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑧ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 11 臨床画像判断① MRI画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① X-P画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。								
6								
6								
8 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑥ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 9 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑦ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 10 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑧ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 11 臨床画像判断① MRI画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① X-P画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。								
8 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑥ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 9 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑦ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 10 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑧ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 11 臨床画像判断① MRI画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① X-P画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。								
8 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑥ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 9 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑦ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 10 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑧ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 11 臨床画像判断① MRI画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 X-P画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。								
8 9 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑦ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 10 各種画像診断装置の撮影と読影方法® 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 11 臨床画像判断① MRI画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 以一P画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。								
9 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑦ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 10 各種画像診断装置の撮影と読影方法⑧ 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 11 臨床画像判断① MRI画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 13 なーP画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。								
9 10 各種画像診断装置の撮影と読影方法® 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 11 臨床画像判断① MRI画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 なート画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。								
9 10 各種画像診断装置の撮影と読影方法® 超音波画像の撮影および読影方法について学ぶ。 11 臨床画像判断① MRI画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 臨床画像判断① CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 12 な、								
10								
10								
11								
11								
12 臨床画像判断① CT画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。 臨床画像判断① X-P画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。								
12								
12								
13 臨床画像判断① X-P画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。								
13								
臨床画像判断① 超音波画像所見から傷病名を判断できるよう学ぶ。								
### 15 総まとめ 復習 復習 15 15 15 15 15 15 15 1								
期末 レポート提出 シュー シュ ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・								
ສ								
「****・」 ・								
【参考書】								
[授業時間外に必要な学習の具体的内容] 解剖学、生理学などの基礎医学知識								
【本講義に関しての質問先】 担当教員 【質問方法】 教員室にて								

授業名:臨床実習Ⅲ(1/2)

	<u> </u>	担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	■ MS柔道整復学科	斗 【学年】	3
			整形外科		【開講時期】	通年	【回数(時間)】	45(90)
	局野	正和	5年勤務	高野	【曜日・コマ】		【授業形態・単位】	実習 2
【授業	授業の概要】							られる力】
臨床現	見場で柔	道整復師として		状況判断力				
				固定技術				
F 11/ 33		\+ - I = \ \					コミュニケーシ	
		達目標)】 の業務の流れる	<i>t</i> III <i>A</i> 21 → 7	7			協調性の向上	
		の未務の流れる					考え抜く力 問題解決力	
_		治療(物理療法			点を学ぶ		111/22/17/7/	
	<u></u> 修上の注				1 m 41 m 1 m			
回数	授業	のテーマ(担当	教員)		授業の内容の	(授業方法・使用]教材•学修方法)	
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8	国家試	験過去問(必修	対策∙関値	系法規・社会の 解説し、第1回			⋷理・柔道整復実	技)を中心に
9								
10								
11								
12								
13								
13								
14								
15								
期末	レポート			= □ /== 1 :+	レポート	80%	受講態度	20%
試験				評価方法	受講態度	0%		0%
【教科	書】柔道	整復学·実技編	改訂第	2版、柔道整復	夏学•理論編	改訂第6版		
【参考書】								
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】解剖学、生理学などの基礎医学知識								
【本語	構義に関	しての質問先】	担	当教員	【質問方法】	教員室にて		

授業名:臨床実習Ⅲ(2/2)

【担当教員】 【科目責任者】【対象学科】 MS柔道整復学科 【学年】 3										
		病院3年勤務		<u>【刈象子件】</u> 【開講時期】	IMO采担金ほ子科 通年	【回数(時間)】	45(90)			
	國分 義之	接骨院開業 30年経験	國分		 	【授業形態・単位】				
柔道	30年経験 【曜日・コマ】 後期・水 4 【授業形態・単位】 実習 2 【授業の概要】									
①患者 ②自分	大沢判断力 【学習目標(到達目標)】 ①患者さんの訴えを導き出す。 ②自分の中のフロチャートで、結果を導く出す。 ③結果を元にどのような治療方針を立てるか。									
【履何	修上の注意 】									
回数	授業のテーマ (担当	教員)		授業の内容の	授業方法•使用	教材•学修方法)				
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8	国家試験過去問(必修 		系法規・社会係 解説し、第1回			理•柔道整復実	技)を中心に			
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
試験	実習日誌		評価方法	実習評価 受講態度	80% 30%		0% 0%			
【教科書】養成課程三年間に使用した教科書										
【参考書】種々文献 										
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】										
【本講義に関しての質問先】 担任 【質問方法】 教員室にて										